

令和7年度版



# 高根沢町の概要

～まちづくりの合言葉 「くらし 高まる たかねざわ」～

1 沿革	1
2 位置	1
3 地理	1
4 世帯と人口	3
5 就業構造	4
6 農業	5
7 商業	6
8 工業	6
9 教育	7
10 財政状況	8
11 行政機構	11
12 議会	12
13 参考資料（高根沢町の誇りや自慢できるものの紹介）	13

## 高根沢町企画課

[ 栃木県塩谷郡高根沢町大字石末 2053 番地 ]  
〒329-1292 ☎028-675-8102 FAX028-675-2409 ]

# 高根沢町の概要

## 1 沿革

高根沢町は、昭和33年4月1日に北高根沢村と阿久津町が合併して誕生しました。古くから関東平野を代表する米所として知られましたが、今日では徐々に都市化が進展し、人と自然が程よく調和する町として発展を続けています。

## 2 位置

高根沢町は、県都宇都宮市の約12km北東に位置しており、東は丘陵を境に那須烏山市、西は鬼怒川を挟んで宇都宮市、南は芳賀町、北はさくら市に接しています。なお、町の西端には国道4号とJR宇都宮線が縦貫しており約100kmの距離にある首都圏には、鉄道で宇都宮駅から東北新幹線で45分。自動車であれば東北自動車道を利用して120分で到達するという、恵まれた地理的条件にあります。

## 3 地理

地勢は大きく4つに区分され、東端は八溝山系の丘陵台地が南北に走り、中山間的な農村地域になっています。また、ゴルフ場が点在するほか、温泉を有する観光拠点施設「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」があります。

総面積	広狭	標高	気温
70.87 km <sup>2</sup>	東西 10.7km 南北 11.5km	最高 195.7m 最低 109.0m	最高 38.5°C (H30.7) 最低 -10.2°C (R5.1)

中央部は平坦で広大な水田地帯で、このほぼ中央部にある町民広場には、令和10年度を目安に新庁舎ならびに文化・スポーツ複合施設を整備しています。合施設である町民広場があります。

さらに、西部台地にはJR宝積寺駅を中心に商店街や住宅地が広がり、その南には情報の森とちぎ・宮内庁御料牧場・本田技研工業等が連なっています。なお、情報の森とちぎでは、研究開発型を中心とした企業が立地しています。また、町の西端には鬼怒川が南流し、その東沿岸は水田が広がっています。

気候は、内陸性の特徴を有しており、令和6年の年間平均気温は13.3°C、年間降水量は688.0mm（測定器の故障により9~10月を除く）で積雪はあまりありません。また、土地利用の状況は、町の総面積7,087haの内、農地が3,969.2haで面積の56.0%を占め、その91.0%が田んぼとなっています。なお、山林率は開発の進展に伴って低下し、現在は6.5%に過ぎません。

【表1-土地利用の状況】

各年1月1日現在(単位:千m<sup>2</sup>、%)

年次	田	畠	山林	原野	宅地	その他	合計
平成7年	38,081	4,443	6,106	219	5,728	16,323	70,900
平成12年	36,692	3,998	4,834	109	6,830	18,437	70,900
平成17年	36,538	3,873	5,050	109	7,049	18,281	70,900
平成22年	36,462	3,825	5,029	108	7,119	18,357	70,900
平成27年	36,385	3,778	4,843	104	7,197	18,563	70,870
令和2年	36,208	3,630	4,643	85	7,283	19,021	70,870
令和7年	36,129	3,563	4,570	82	7,370	19,156	70,870
割合	50.98%	5.03%	6.45%	0.12%	10.40%	27.03%	100%
平成7年比	94.87%	80.19%	74.84%	37.44%	128.67%	117.36%	99.96%

資料:町税務課(概要調書)

※平成26年10月1日計測方法変更により総面積変更

【表2-用途別面積】

令和7年7月1日現在(単位:ha、%)

区分		面積	構成割合
市街化 区域	商業系地域	27.3	0.39 (4.71)
	住居系地域	374.8	5.29 (64.70)
	工業系地域	177.2	2.49 (30.59)
	市街化区域の計	579.3	8.17 (100.00)
市街化調整区域		6,507.7	91.83
うち農業振興地域		3,751.7	57.65
合計		7,087	100.00

資料:町都市整備課、町産業課

※構成割合の()内は市街化区域を100としたもの

## 4 世帯と人口

高根沢町の人口は、昭和45年以降年々増加し、宇都宮市圏のベッドタウン的な色彩を強くしてきましたが、平成22年からは人口減少に転じています。

【表3-世帯数と人口】

(単位:戸、人、%)

年次	世帯数	人口			1世帯当たり人口	人口の平成7年比		
		うち農家	農家率	うち男	うち女			
平成7年	8,150	1,993	24.45	27,785	14,073	13,712	3.41	100.00
平成12年	9,625	1,861	19.34	29,777	15,320	14,457	3.09	107.17
平成17年	10,952	1,695	15.48	30,915	15,982	14,933	2.82	111.27
平成22年	11,201	1,504	13.43	30,436	15,761	14,675	2.72	109.54
平成27年	11,521	1,299	11.28	29,639	15,326	14,313	2.57	106.67
令和2年	12,205	1,126	9.23	29,229	15,254	13,975	2.39	105.20

資料:国勢調査(各年10月1日現在)と農林業センサス(各年2月1日現在)

【表4-年齢区分別人口】

各年10月1日現在(単位:人、%)

年次	人口				割合			
	総数	15歳未満年少人口	15~64歳生産年齢	65歳以上老年人口	年齢「不詳」	15歳未満	15~64歳	65歳以上
平成7年	27,785	5,072	18,428	4,285	-	18.3	66.3	15.4
平成12年	29,777	5,023	19,689	5,065	-	16.9	66.1	17.0
平成17年	30,915	4,683	20,792	5,439	-	15.1	67.3	17.6
平成22年	30,436	4,284	20,170	5,982	-	14.1	66.3	19.7
平成27年	29,639	3,845	18,679	6,722	393	13.0	63.0	22.7
令和2年	29,229	3,471	18,001	7,409	348	11.9	61.6	25.3

資料:国勢調査

【表5-15歳以上就業者・通学者動態】

各年10月1日現在(単位:人)

区分	平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
常住者	17,337	15,923	1,414	16,733	15,433	1,300	16,104	14,948	1,156
町内に就業・通学の常住者(A)	6,253	5,972	281	6,209	5,899	310	5,762	5,543	219
流出	町外に就業・通学の常住者	10,885	9,764	1,121	10,062	9,111	951	10,002	9,103
	宇都宮市	5,016	4,447	569	4,667	4,155	512	4,496	4,069
	芳賀町	2,188	2,188	0	1,857	1,857	0	1,864	1,864
	さくら市	1,070	992	78	1,013	954	59	1,050	984
	上記以外	2,611	2,137	474	2,525	2,145	380	2,592	2,186
流入	町外から就業・通学者(B)	5,595	5,250	345	5,648	5,299	349	5,370	5,077
	宇都宮市	2,695	2,592	103	2,617	2,475	142	2,363	2,268
	さくら市	920	827	93	943	845	98	1,038	949
	那須烏山市	561	474	87	571	522	49	534	485
	上記以外の他市町・県外	1,419	1,357	62	1,517	1,457	60	1,435	1,375
当町で就業・通学者(A)+(B)	11,848	11,222	626	11,857	11,198	659	11,132	10,620	512

資料:国勢調査(※常住者には従業地・通学地「不詳」の者を含めた)

## 5 就業構造

昭和35年頃までは、就業人口の4分の3程度が第1次産業（主に農業）に従事していましたが、社会経済の変化に伴って第2次、第3次産業従事者が急速に増大してきました。

**【表6-産業別就業人口】**

各年10月1日現在(単位:人、%)

分類	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年			令和2年次の構成比
					総数	男	女	
第1次産業	1,776	1,669	1,502	1,442	1,170	640	530	7.83
第2次産業	5,551	5,034	4,286	4,383	4,243	3,264	979	28.38
第3次産業	8,526	9,838	10,135	8,975	9,535	4,950	4,585	63.79
総就業人口	15,853	16,541	15,923	14,800	14,948	8,854	6,094	100.00

資料:国勢調査

**【表7-令和2年国勢調査の労働力状況】**

各年10月1日現在(単位:人)

総数	就業者 総数					完全失 業者	非労働・ 不詳者
		主に仕事	家事のほ か仕事	通学のか たわら仕事	仕事を休 んでいた		
25,410	14,948	12,822	1,697	100	329	447	10,015

資料:国勢調査

**【表8-町内の事業所数と従業者数】**

(単位:所、人)

産業区分	平成21年		平成24年		平成26年		平成28年		令和3年	
	事業所	従業員	事業所	従業員	事業所	従業員	事業所	従業員	事業所	従業員
農林水産業	10	206	8	93	13	188	11	111	15	155
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	171	948	152	794	137	659	130	636	113	605
製造業	75	1,836	73	1,521	72	1,655	63	2,866	59	1,930
卸売業・小売業	364	2,102	229	1,427	215	1,433	205	1,329	169	1,126
金融・保険業	8	81	10	130	8	107	8	114	9	143
不動産業※	47	211	43	167	36	157	34	135	40	136
運輸通信業	29	406	27	410	26	395	25	366	24	426
電気ガス水道業	2	32	0	0	4	32	2	18	3	16
サービス業	369	4,494	396	4,686	431	5,482	399	4,340	381	4,671
公務	9	183	-	-	9	177	-	-	-	-
合計	1,084	10,499	938	9,228	951	10,285	877	9,915	813	9,208

資料:経済センサス(平成24年:2月現在、平成26年:7月現在、平成28年:6月現在、令和3年:6月現在)

※平成21年から、不動産業に物品賃貸業を含む。

## 6 農業

高根沢町は、典型的な水田農業地帯です。

過去10年（H22、R2農林業センサス比較）で農家数は、25.1%減少しています。

生産は土地利用型作物が中心となっていましたが、園芸作物の生産も伸びてきてています。

生産基盤は、昭和47年に着工した全町圃場整備事業によって30アール区画となり、道水路も完備されています。

**【表9-町内の農家と経営耕地面積】** 各年2月1日現在(単位:戸、人、ha)

区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農家数	1,993	1,861	1,695	1,504	1,299	1,126
自給的農家	—	201	235	240	243	233
販売農家	専業農家	199	179	194	225	253
	兼業農家	1,794	1,481	1,266	1,039	803
	農業主	441	279	344	216	186
	兼業主	1,353	1,202	922	823	617
農家人口	9,692	8,859	6,887	5,553	4,236	3,238
	男	4,796	4,401	3,417	2,762	2,137
	女	4,896	4,458	3,470	2,761	2,099
経営耕地	3,923	3,852	3,680	3,748	3,600	3,429
	水田	3,623	3,600	3,481	3,498	3,388
	普通畠	245	204	157	210	170
	樹園地等	55	448	42	40	42
1戸平均(a)※	197a	207a	217a	296a	344a	382a

資料:農林業センサス

※ 算式:(経営耕地面積)÷(経営耕地のある経営体数)

令和2年度は 342,938a(経営耕地面積)÷897(経営耕地のある経営体数)≈382a

## 7 商業

高根沢町の商業は、JR宝積寺駅と仁井田駅を中心とする商店街が主体でしたが、近年は店舗の移転や後継者不足による空き店舗の増加等のため空洞化が進み、中心市街地活性化対策が急務となっています。

また主要地方道宇都宮・那須烏山線沿いには郊外型の中規模店が進出しており、商業圏は大きく変わってきています。

【表10-町内の商業と商品販売額】

各年6月1日現在(単位:所、人、万円)

区分	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年
事業所数	279	195	173	194	166
従業者数	1,640	1,089	1,071	1,194	1,138
年間商品販売額	-	3,688,900	2,868,680	3,218,600	34,693

資料:商業統計調査(飲食店は含みません。)、平成21年は経済センサス-基礎調査、平成24年・28年令和3年は経済センサス-活動調査(卸売業・小売業)

※商業統計調査は、平成30年の調査を中止、令和元年以降は「経済構造実態調査」へ統合・再編されました。

## 8 工業

高根沢町の製造事業所は、当地創業のマニー(株)高根沢工場(医療機器)、宇津救命丸(株)高根沢工場(小児薬)、森山産業(株)(電気照明器具)と誘致企業のティ・エス・テック(株)(自動車電機部品)及びタイガースポリマー(株)栃木工場(プラスチック管)等があります。

平成7年に完成したソフトリサーチパーク「情報の森とちぎ」には、中核施設の「システムソリューションセンターとちぎ」を始め、日立Astemo(自動車部品)、ミネベア アクセスソリューションズ(株)(自動車部品)、ジーテクト(自動車車体骨格部品)といった自動車関連の研究開発型の企業立地が進展しています。

【表11-町内の工場と製造品出荷額】

各年12月31日現在(単位:所、人、万円)

項目	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
事業所数	30	25	26	25	23
従業員数	1,781	1,461	1,442	1,391	1,397
現金給与総額	971,183	787,093	808,722	772,507	819,404
原材料使用額	882,119	770,903	757,910	838,246	907,501
製造品出荷額	1,804,603	1,749,857	1,503,301	1,641,457	1,779,196
有形固定資産投資総額	76,113	101,069	84,812	59,892	103,612

資料:工業統計調査

※令和3年は、「経済センサス-活動調査」実施年そのため、工業統計調査は中止になりました。

※工業統計調査は令和4(2022)年に廃止され、「経済構造実態調査」へ包摂されました。

## 9 教育

平成25年と令和7年を比較すると、少子化の影響で、小学校の児童数は19.9%、中学校の生徒数は15.7%減少しています。乳幼児については、ライフスタイルの変化のためか、保育園の園児数が14.1%増加する一方、幼稚園の園児数は52.6%減少しています。

本町では児童生徒の「生きる力」を育むため、小・中学校が密接に連携する「小中一貫教育」や、上高根沢小学校において「小規模特認校制度」を導入しています。また、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる教育相談の実施や、不登校の児童生徒が自由に通学できるフリースペース「ひよこの家」の運営など、子どもたちとその保護者への支援を行っています。

**【表12-小・中学校の状況】**

各年5月1日現在(単位:校、学級、人)

年次	学校数		学級数		児童・生徒数		教員数	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
平成25年	6	2	65	29	1,598	795	120	63
平成30年	6	2	65	28	1,490	766	122	65
令和5年	6	2	63	27	1,351	709	113	57
令和6年	6	2	65	28	1,311	709	118	51
令和7年	6	2	65	27	1,280	670	120	51

資料:学校基本調査

**【表13-幼稚園の状況】**

各年5月1日現在(単位:園、人)

年次	幼稚園数		学級数	園児数	教員数
	町立	私立			
平成25年	0	2	16	314	27
平成30年	0	2	13	252	26
令和5年	0	2	10	202	21
令和6年	0	2	7	171	22
令和7年	0	2	6	149	20

資料:学校基本調査

**【表14-保育園の状況】**

各年5月1日現在(単位:園、人)

年次	保育園数		収容定員	乳児・幼児措置数				職員数	うち保育士
	町立	私立		総数	3歳未満	3歳児	4歳以上		
平成25年	4	3	645	665	264	130	271	149	127
平成30年	4	4	751	695	284	149	262	148	119
令和5年	2	8	863	713	322	131	260	173	140
令和6年	2	8	898	751	329	144	278	168	132
令和7年	2	8	901	759	312	171	276	190	158

資料:町こどもみらい課

## 10 財政状況

高根沢町の令和7年度一般会計当初予算は131億1,000万円であり、特別会計等を合わせた総額は207億4,632万4千円です。

なお、令和6年度決算における財政力指数は0.72、経常収支比率は83.5%、実質公債費比率は3.0%となっています。また、健全化判断比率及び資金不足比率は早期健全化基準又は経営健全化基準を下回っています。

【表15-普通会計の財政状況】

(単位:千円、%)

年度	決算額		一般財源		
	歳入	歳出	うち町税	うち地方交付税	
令和元年度	15,106,749	14,388,946	6,627,508	4,548,172	1,184,050
令和3年度	12,718,649	12,214,196	7,140,137	4,530,006	1,587,820
令和4年度	10,933,356	10,546,725	6,964,684	4,374,232	1,560,307
令和5年度	10,926,231	10,517,655	7,194,671	4,362,054	1,794,566
令和6年度	11,639,906	11,055,044	7,655,979	4,416,149	1,986,302

【表16-普通会計の各種指標】

(単位:千円、%)

年度	財政力指数	標準財政規模	公債費	経常収支比率	健全化判断比率			
					実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和2年度	0.788	6,714,532	598,174	79.6	▲8.2	▲31.5	1.1	▲41.0
令和3年度	0.773	7,137,535	639,478	74.1	▲6.5	▲29.2	0.8	▲55.6
令和4年度	0.763	6,885,564	682,031	82.4	▲5.1	▲29.3	1.4	▲64.6
令和5年度	0.736	6,999,708	701,257	83.3	▲5.1	▲29.6	2.1	▲75.7
令和6年度	0.721	7,225,795	702,032	83.5	▲5.8	▲29.9	3.0	▲72.1
資料:町企画課	※早期健全化基準(令和6年度)				13.97	18.97	25.0	350.0

※普通会計は「一般会計」及び「宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計」(令和5年度をもって廃止)が対象。

※赤字比率や将来負担比率は、赤字及び将来負担が発生していない為、マイナスになっています。

【表17-普通会計以外の各種指標】

年度	資金不足比率				経営健全化基準	
	水道事業会計	下水道事業会計				
		公共下水道特別会計	農業集落排水事業特別会計			
令和2年度	▲290.4		▲67.8		20.0	
令和3年度	▲265.4		▲64.9		20.0	
令和4年度	▲309.8		▲65.6		20.0	
令和5年度	▲289.8		▲57.5		20.0	
令和6年度	▲299.5		▲60.3		20.0	

資料:町企画課

※資金不足が発生していない為、比率がマイナスになっています。

【表18—一般会計歳入額】

(単位:千円、%)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額	構成比
町税	4,530,006	4,374,232	4,362,053	4,416,149	4,348,736	33.2
町民税	2,062,518	2,020,332	2,024,604	2,048,639	2,019,095	15.4
個人町民税	1,810,764	1,800,378	1,845,582	1,750,259	1,833,040	14.0
法人町民税	251,753	219,954	179,022	298,380	186,055	1.4
固定資産税	2,040,947	2,033,681	2,018,619	2,042,087	2,007,864	15.3
軽自動車税	95,032	99,842	102,221	105,790	107,032	0.8
町たばこ税	195,361	208,280	205,039	208,968	203,177	1.5
入湯税	9,141	10,955	11,101	10,499	11,491	0.1
都市計画税	127,007	1,142	469	166	77	0.0
地方譲与税	142,134	141,126	144,407	145,251	134,522	1.0
利子割交付金	2,546	1,282	1,124	1,787	2,000	0.0
配当割交付金	26,293	24,806	26,085	35,973	15,000	0.1
株式等譲渡所得割交付金	30,452	18,438	30,166	51,048	15,000	0.1
法人事業税交付金	37,063	51,219	49,907	58,249	45,000	0.3
地方消費税交付金	683,098	712,397	704,937	737,423	700,000	5.3
ゴルフ場利用税交付金	30,662	30,389	28,530	26,953	26,000	0.2
自動車取得税交付金	0	211	1,163	0	0	0.0
環境性能割交付金	14,818	14,526	18,183	20,398	14,000	0.1
地方特例交付金	50,907	31,761	29,739	172,628	22,001	0.2
地方交付税	1,587,820	1,560,307	1,794,566	1,986,302	1,430,000	10.9
交通安全対策特例交付金	4,337	3,990	3,809	3,817	4,000	0.0
分担金・負担金	63,879	43,682	49,961	45,461	37,136	0.3
使用料・手数料	91,180	91,868	93,398	95,165	87,087	0.7
国庫支出金	2,479,941	1,884,756	1,852,823	1,851,736	2,245,933	17.1
県支出金	771,243	777,872	841,382	863,546	1,085,268	8.3
財産収入	7,749	9,997	9,837	17,529	13,953	0.1
寄附金	19,744	17,421	17,238	46,924	30,003	0.2
繰入金	100,769	27,948	30,697	234,614	1,214,782	9.3
繰越金	717,658	501,944	383,896	408,577	150,000	1.1
諸収入	400,622	340,439	312,099	369,376	342,479	2.6
町債	907,200	263,000	137,000	51,000	1,147,100	8.7
合計	15,057,959	10,923,611	10,923,000	11,639,906	13,110,000	100.00

資料:町企画課

【表19-一般会計歳出額】

(単位：千円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額	構成比
議会費	110,430	99,412	94,065	94,900	104,635	0.8
総務費	2,254,786	1,395,114	1,489,283	1,449,651	2,041,914	15.6
民生費	4,476,620	3,915,489	4,231,873	4,667,087	4,867,776	37.1
衛生費	854,462	951,866	811,971	795,552	887,779	6.8
労働費	3,334	0	0	0	0	-
農林水産業費	705,548	348,147	260,489	234,816	465,846	3.6
商工費	267,680	288,680	433,401	390,266	380,278	2.9
土木費	954,328	993,645	859,678	908,374	1,269,612	9.7
消防費	498,171	534,434	519,384	515,845	597,683	4.6
教育費	1,446,608	1,343,959	1,125,733	1,296,521	1,773,007	13.5
災害復旧費	0	0	0	0	4	0.0
公債費	626,210	668,968	688,546	702,032	711,466	5.4
予備費	0	0	0	0	10,000	0.1
合計	10,694,653	10,539,714	10,514,423	11,055,044	13,110,000	100.00

資料:町企画課

【表20-特別会計・企業会計歳出額】

(単位:千円)

会計別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額
国民健康保険特別会計	2,687,400	2,509,158	2,544,821	2,504,602	2,530,701
後期高齢者医療特別会計	289,594	302,105	320,237	359,889	382,234
介護保険特別会計	2,300,140	2,289,216	2,324,649	2,327,730	2,349,542
宝積寺駅西第一土地地区画整理事業特別会計	51,082	79,863	17,950		
水道事業会計	766,919	799,070	816,591	808,296	910,586
公共下水道特別会計	1,305,518	1,548,059	1,300,047	1,381,474	1,463,261
農業集落排水事業特別会計					
合計	7,400,653	7,527,471	7,324,295	7,381,991	7,636,324

資料:町企画課

※水道事業会計の予算額は、(収益的支出)+(資本的支出)で計算される予算規模を記載しています。

※平成30年度から公共下水道事業特別会計および農業集落排水事業特別会計は企業会計に移行し、下水道事業会計となりました。下水道事業会計の予算額は、(収支的支出)+(資本的支出)で計算される予算規模を記載しています。

# 高根沢町の組織図

令和7年7月1日現在

部局	課	係	主な業務	電話番号
町長 (神林秀治)	総務課	行政	法規・議会・文書管理	675-8101
		人事	人事・給与・職員研修	
		秘書公聴	秘書・公聴・情報公開	
		管財	財産管理	
		契約	契約・検査	
	企画課	企画調整	地域経営計画・行財政改革	675-8102
		財政	予算編成・執行総括	
		広報・情報	広報・情報管理・統計	
	地域安全課	消防防災	消防・防災	675-8110
		地域安全	防犯・交通安全・交通政策	
副町長 (國井隆弘)	住民課	総合窓口	総合案内・各種受付発行	675-8100
		戸籍	戸籍	
		保険年金	国民健康保険・国民年金・後期高齢者	675-8141
	税務課	住民税	町県民税	675-8103
		資産税	固定資産税・都市計画税	
		諸税	その他の町税等	
		収納対策	町税等の徴収	
	健康福祉課	高齢者・介護	高齢者福祉・介護保険	675-8105
		障害者	障害者福祉	
		社会福祉	生活保護・地域福祉	
		健康づくり	健康管理・母子保健 ・子育て世代包括支援センター	675-4559
	環境課	環境	環境政策・墓地・犬の登録	675-8109
		リサイクル	リサイクル・ごみ収集	
(会計管理者)	都市整備課	計画・市街地整備	都市計画・施設整備・土地区画整理	675-8107
		道路建設	道路・橋梁・河川・交通安全施設	
		管理	公園・景観・町営住宅	
		地籍・用地	地籍調査・用地取得・補償	
	上下水道課	建設整備	上下水道施設の整備、維持管理	675-2449
		業務管理	予算・決算・契約・資産管理	
	産業課	農業政策	農業施策	676-1441
		農村振興	農村環境	
		産業政策	企業誘致・地域経済活性化センター 移住・定住・創業支援センター (612-5771)	
		商工観光	商工業・観光 消費生活センター(675-3000)	675-8104
		農業イノベーション推進室	人・農地プラン・スマート農業 ・土地改良の推進	
		企業立地支援室	整備支援・連絡調整	
	新庁舎整備課	新庁舎整備	新庁舎整備・公共施設の集約化・再配置	675-8120
	会計課	会計	会計事務	675-8112
教育委員会 教育長 (坂本美知夫)	学校教育課	学校教育	学校教育・通学区域	675-1037
		学校支援	児童生徒・学校組織	
		施設管理	学校施設・児童福祉施設	
		給食センター		
	こどもみらい課	養育支援	児童福祉・要保護児童	675-6466
			保育園・児童館・学童保育所	
		保育	にじいろ保育園	
			のびのび保育園	
	生涯学習課	生涯学習	生涯学習・社会教育・青少年育成	675-3175
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション	
		公民館・文化	文化・芸術	
		施設管理	社会教育施設	
議会	議会事務局	議会	議会事務	675-8111
監査委員	監査委員事務局	監査	監査事務	675-8115
選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局		選挙事務	
農業委員会	農業委員会事務局	庶務	農地利用調整・農業者年金	675-8108

## 12 議会

### 【議員数】

12人（条例定数13人）

任期：令和8年4月29日

### 【議員期別構成】

期数	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	10期
人数	5人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	2人	1人

### 【常任委員会】

委員会名	人数	所管課
まちづくり常任委員会	7人	総務課・企画課・都市整備課・上下水道課・産業課・新庁舎整備課・会計課・議会事務局・監査委員事務局・選挙管理委員会事務局・農業委員会事務局
くらしづくり常任委員会	6人	地域安全課・住民課・税務課・健康福祉課・環境課・学校教育課・こどもみらい課・生涯学習課
議会広報常任委員会	6人	

### 【議会運営委員会】

構成：6人

### 【議会広聴特別委員会】

構成：4人

### 【議会地域経営計画審査特別委員会】

構成：13人

### 【議員報酬】

役職	議長	副議長	議員
報酬額(月額)	360,000円	290,000円	260,000円

### 【会期の日程】

- ①議案上程、提案理由説明、議案審議、委員会付託
- ②一般質問（通常は2日）
- ③常任委員会（各委員会とも通常1日）
- ④予算、決算特別委員会（9月決算、3月予算、通常3日）
- ⑤委員長報告、質疑応答、討論、採決

### 【一般質問】

- ①議会運営委員会開催の1週間前までに質問通告書を提出する。
- ②期日は議会開会日の翌日を基本に議会運営委員会で決定する。
- ③質疑回数は制限なく一問一答方式により、質疑答弁を含めて60分以内としている。

### 【審議】

人事案件と軽易な条例の一部改正を除き、原則として所管の常任委員会に付託している。

# 高根沢町の誇りや自慢できるものの紹介

高根沢町には、清々しい空気や町を流れる川、おしゃれなスポットやイベントがあります。そして、思い切り吸い込みたい自然と、街の音が聴こえると思うほど都心に程よく近いというギャップのある町です。ここでは、高根沢町の誇りや自慢できるものを紹介します。



## 1 美しい自然

- ◇ 高根沢町は関東平野を代表する穀倉地帯で、豊かな緑があります。
- ◇ 自然と遊び親しむ施設として、鬼怒グリーンパーク、道の駅たかねざわ 元気あっぷむらの自然の森・親水公園、ゴルフ場（3か所）、酪農とちぎふれあい牧場等があります。

## 2 豊かな農産物

- ◇ 高根沢町は、典型的な平地農村で美味しい米の産地です。令和元年度には、町内で収穫された「とちぎの星」が皇位継承に伴う重要な宮中祭祀「大嘗祭」に使用されました。
- ◇ 季節ごとの野菜やきのこ、生花、丘陵台地で育てられる果樹（梨・ブドウ・リンゴ・柚子）といった様々な農産物が生産されています。また、町内産の米と大豆を使用した味噌や、リンゴや梨を使ったジュースなど農産物を活用した加工品を製造しています。
- ◇ おいしい町産農産物を活かした「高根沢ちゃんぽん」「高根沢焼ちゃんぽん」「高根沢お米スイーツ・パン」といった「高根沢ローカルグルメ」を町内飲食店等で手軽に楽しむことができます。

## 3 ちょっと蔵広場

- ◇ 平成20年4月JR宝積寺駅東口にグランドオープンした「ちょっと蔵広場」は、世界的建築家の隈研吾氏の設計・監修によるものです。
- ◇ 昭和初期に建造され、米どころ高根沢の生活史を長年にわたって見続けてきた大谷石の米蔵を再利用した「ちょっと蔵ホール」と「ちょっと蔵館」（情報発信館や飲食店が入居）、「町商工会館」の3棟が立ち並び、イベント開催時には町内外から多くの人が訪れるなど、賑わいと交流の場になっています。

#### **4 クリエイターズ・デパートメント**

- ◇ クリエイターズ・デパートメントは、移住・定住・創業支援センターと 5 棟のお試し創業施設からなる施設で、JR 宝積寺駅東口に位置しています。
- ◇ 移住・定住・創業支援センターでは、高根沢町への移住や創業を希望する人へ、空き家バンクや創業支援制度を活用したワンストップ相談窓口業務を行っています。
- ◇ 将来高根沢町で創業を考えている人や新たな事業に挑戦しようとする人に、最大 2 年間お試し創業施設を貸し出しています。

#### **5 道の駅たかねざわ 元気あっぷむら**

- ◇ ゆかりのあるクリエイターや町の農業者・商業者が作る様々な魅力のあるものを集約しながら、グランピング、温泉、食事、遊びや体験等のサービスを複層的に提供することにより、特別な日の観光の目的地としても、普段使いする近隣住民にとっても「行きたくなる場所 ここにしかない空間」となる「滞在型の道の駅」です。

#### **6 宮内庁御料牧場**

- ◇ 昭和 44 年に、成田空港の建設に伴い千葉県から高根沢町に移転しました。
- ◇ 牧場では、皇室の用に供する家畜の飼養と農産物の生産を行っています。
- ◇ 天皇陛下ご一家が休養に訪れています。